

○「復興まちづくり推進員」

宮城大学では、宮城県から委託され、「復興まちづくり推進員」を宮城県東松島市と南三陸町の2市町に導入しました。復興まちづくり推進員の役割のひとつに、被災者の声を行政や社会に届けるという役割があります。

東松島市の仮設住宅では、子どもが遊べる場所が少ないという子育て中の女性の話をも復興まちづくり推進員が聞き、地元の市民センターやボランティアの協力を得て、月2回、集会所で未就学児の集団保育を行う臨時の遊び場を作ることとなりました。



○コミュニティカフェ「HANA荘」

宮城県石巻市で、地域の人々が集まり、交流の場となるコミュニティカフェ「HANA荘（はなそう）」が開設されました。

このカフェは、民間企業が建設し、運営はNPOと共同で行っています。また、地元の被災者を雇用することとしており、住民の要望に応えながら、長期的視野に立って運営しています。カフェでは、メイクアップやハンドマッサージ、臨床心理士による相談なども行い、住民同士の交流が深まり、地域コミュニティの再構築につながることが期待されています。

